

名古屋市観光客・宿泊客動向調査
(平成 28 年度)
概要版

平成 30 年 1 月

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成28年度）概要版

1 調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査結果の概要

(1) 観光客の入込動向

【全国観光統計基準の採用】

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施設の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成17年度より、全国観光統計基準に準拠し、「行・祭事」「その他のイベント」「スポーツ」「音楽・演劇等」の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成28年度については全国観光統計基準に適合する83地点の観光入込客数を把握した。

【観光入込客延べ人数】

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体への入込客数調査によって観光入込客延べ人数を算出した。平成28年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約7,044万人で前年度比200万人（2.9%）増加した。

9月の悪天候や12月から1月の高病原性鳥インフルエンザ発生による休園によって「東山動植物園」の入場者が減少したものの、6月に本丸御殿第2期公開を開始した「名古屋城」や、8月から10月のあいちトリエンナーレ2016の会場であった「名古屋市美術館」「愛知県美術館」が人気を博したことが増加の主な要因となっている。

■ 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(26) 22,625,801	(26) 22,361,685	(26) 23,556,367	(26) 23,300,401
	産業観光	(6) 2,155,078	(6) 2,175,112	(6) 2,274,112	(6) 2,149,817
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,502,060	(16) 11,412,265	(16) 12,059,196	(15) 13,263,867
	温泉				
	買物				
触れ合う （交流する）	行・祭事	(17) 6,610,033	(16) 8,502,057	(16) 8,021,482	(15) 8,592,346
	イベント	(21) 22,268,244	(20) 22,564,723	(20) 22,525,264	(21) 23,129,212
計		(86) 65,161,216	(84) 67,015,842	(84) 68,436,597	(83) 70,435,643

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

◆ 調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成8年3月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定しており、29施設を調査対象とした。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が5万人以上かつ、市外の観光入込客数が2割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間5万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

【観光入込客 実人数の推計】

観光客調査により平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を算出した。平成 28 年度の観光入込客実人数は 4,727 万人であり、昨年度に比べ 396 万人増加した。

宿泊施設調査により、宿泊客実人数を推計し、観光客調査により、居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客・日帰り客実人数を推計した。

■ 観光入込客実人数の推移

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
観光入込客延べ人数（人）	65,161,216	67,015,842	68,436,597	70,435,643
平均訪問観光地点数	1.82	1.69	1.58	1.49
観光入込客実人数（万人）	3,580 万人	3,965 万人	4,331 万人	4,727 万人
宿泊客実人数（万人）	598 万人	586 万人	653 万人	639 万人
日帰り客実人数（万人）	2,982 万人	3,379 万人	3,678 万人	4,088 万人

■ 市内・市外別宿泊客数・日帰り客数の推計

	実人数計	居住地割合		観光入込客実人数	
		名古屋市内	名古屋市外	名古屋市内	名古屋市外
観光入込客	4,727 万人	36.2%	63.8%	1,711 万人	3,016 万人
宿泊客	639 万人	0.6%	99.4%	4 万人	635 万人
日帰り客	4,088 万人			1,707 万人	2,381 万人

【観光消費額の推計】

観光客調査により、観光入込客の名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計した。平成 28 年度の名古屋市内の観光総消費額は、3,541 億円であり、昨年度に比べ 259 億円減となった。

■ 宿泊・日帰り別観光総消費額の推移

		平成 27 年度	平成 28 年度
宿泊客一人あたり消費額		26,353 円	24,530 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内	3,215 円	2,905 円
	名古屋市外	7,292 円	6,211 円
宿泊客総消費額		1,720 億円	1,567 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内	474 億円	496 億円
	名古屋市外	1,606 億円	1,478 億円
名古屋市内観光総消費額		3,800 億円	3,541 億円

■ 観光消費額の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度
食事費消費額	1,096 億円	1,082 億円
交通費消費額	438 億円	435 億円
土産費消費額	900 億円	773 億円
宿泊費消費額	584 億円	523 億円
入場料消費額	363 億円	345 億円
その他消費額	419 億円	383 億円
総消費額	3,800 億円	3,541 億円

■ 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		名古屋市内	名古屋市外
食事費	6,491 円	1,116 円	1,999 円
交通費	1,674 円	451 円	1,056 円
土産費	5,154 円	491 円	1,512 円
宿泊費	8,188 円		
入場料	1,254 円	370 円	850 円
その他	1,769 円	477 円	794 円
合 計	24,530 円	2,905 円	6,211 円

■ 主な旅行費用項目別消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		合 計	平成 27 年度
		名古屋市内	名古屋市外		
食事費消費額	415 億円	191 億円	476 億円	1,082 億円	1,096 億円
交通費消費額	107 億円	77 億円	251 億円	435 億円	438 億円
土産費消費額	329 億円	84 億円	360 億円	773 億円	900 億円
宿泊費消費額	523 億円			523 億円	584 億円
入場料消費額	80 億円	63 億円	202 億円	345 億円	363 億円
その他消費額	113 億円	81 億円	189 億円	383 億円	419 億円
観光総消費額	1,567 億円	496 億円	1,478 億円	3,541 億円	3,800 億円

(2) 観光地点入込客の実態

名古屋城、東山動植物園をはじめとする 6 観光施設において、秋・春それぞれ平日・土曜・日曜の計 6 回、調査員が対面聞き取りにより調査した（合計 3,685 サンプル）。

■ 調査観光地点とサンプル数

	名古屋城	東山動植物園	熱田神宮	名古屋市科学館	名古屋港水族館	ノリタケの森	合 計
サンプル数	619	617	612	612	614	611	3,685

【観光地点別入込客の特性】

「名古屋城」において「東海地域以外」からの入込客の割合が多くなっている。一方「東山動植物園」においては、「名古屋市内」の割合が多くなっている。また、「名古屋港水族館」においては若年層の割合が多く、「名古屋城」や「東山動植物園」においては中高年齢層の割合が高く、「熱田神宮」、「名古屋市科学館」、「ノリタケの森」は年齢による偏りが他の 3 地点より小さい。（本編参照）

■ 入込客の居住地構成

（単位：％）

東海	東海				関東	近畿	北陸・甲信越	北海道・東北	中国・四国	九州・沖縄	国外
	名古屋市	愛知県（名古屋市を除く）	静岡県	岐阜・三重							
	71.4	36.2	23.4	11.8	9.9	8.1	4.5	2.0	1.7	2.0	0.4

【観光入込客の遊覧状況】

一人あたりの訪問施設数は1.49施設である。
 全般に調査場所の近隣の観光施設にも立ち寄っているケースがみられる。

■ 主な観光施設入込客の遊覧状況

(単位：%)

訪問施設 観光地点	名古屋城	東山動植物園	熱田神宮	名古屋市科学館	名古屋港水族館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	名古屋テレビ塔	ミッドランドスクエア等	トヨタ産業技術記念館	リニア・鉄道館	その他	平均訪問施設数
名古屋城		3.6	12.1	1.6	2.4	3.7	5.3	3.7	2.4	1.1	4.0	0.5	14.2	1.55
東山動植物園	4.5		1.3	0.2	1.6	0.3	0.5	0.5	1.3	0.6	0.6	0.5	12.5	1.24
熱田神宮	19.3	2.1		2.0	1.8	1.1	3.3	1.5	3.3	1.5	2.5	0.7	14.9	1.54
名古屋市科学館	10.9	2.3	4.4		3.1	1.1	0.3	1.1	2.3	3.3	1.8	0.7	17.6	1.49
名古屋港水族館	10.6	2.9	4.6	3.1		0.8	1.8	2.0	1.1	1.5	2.4	3.3	28.3	1.62
ノリタケの森	11.6	0.7	4.1	1.3	1.0		4.1	2.3	1.6	3.1	8.5	1.0	10.9	1.50

(複数回答)

【観光入込客の旅行費用】

今回の旅行費用の平均額は、交通費 955 円、土産代 1,833 円、食事代 2,548 円、入場料 754 円である。また、宿泊者の1泊の宿泊代は8,188円となっている。

■ 主な観光施設入込客の市内での消費額

	交通費	土産代	食事代	宿泊代	入場料	その他の費用
平均額 (円)	955	1,833	2,548	8,188	754	869

【名古屋の印象・旅行の満足度】

名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が45.4%と最も多く、「大変満足」が36.1%で合わせた81.5%が満足と評価している。「普通」が17.6%であり、「やや不満」「不満」はごく僅かである。

■ 入込客の名古屋の印象・旅行の満足度

(単位：%)

印象・満足度 観光地点	大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
名古屋城	43.9	44.7	10.3	1.1	0.0
東山動植物園	22.6	55.5	20.9	1.0	0.0
熱田神宮	37.7	38.8	22.0	1.0	0.5
名古屋市科学館	45.7	39.8	14.0	0.5	0.0
名古屋港水族館	31.2	49.7	19.1	0.0	0.0
ノリタケの森	30.8	46.8	20.9	1.5	0.0
全体	36.1	45.4	17.6	0.8	0.1

(3) 宿泊施設の状況

市内宿泊施設に調査票を配布し、施設の概要ならびに宿泊者数などを把握した。市内の総宿泊者数は、回答施設の実績から未回答分を推計し算出した。

【宿泊施設数】

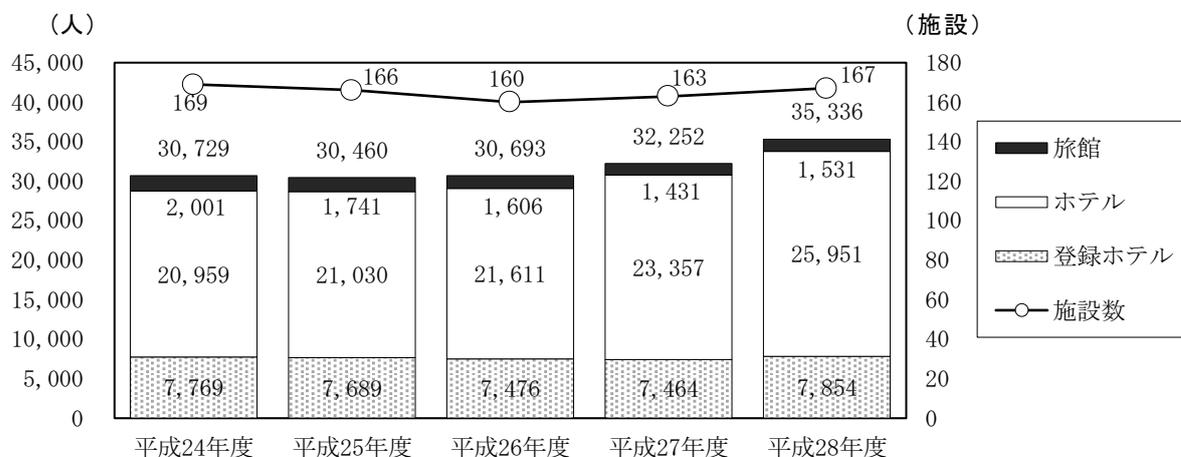
施設数では、登録ホテルが15施設、登録ホテルを除くホテルは124施設、旅館は28施設となっている。また、室数の合計は23,530室、収容人数の合計は35,336人で、昨年度より合計施設数では4施設、部屋数は830室、収容人数は3,084人の増加となった。

【年間宿泊者数】

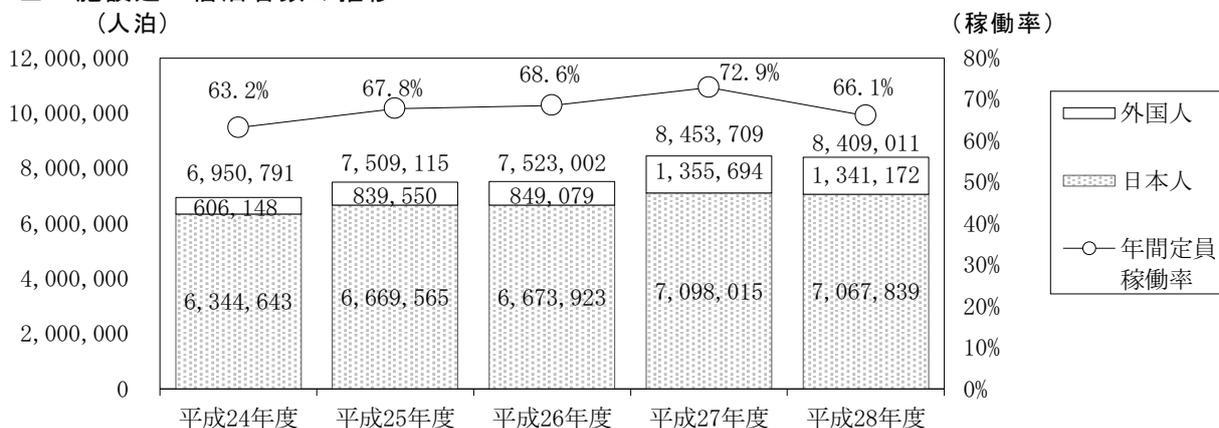
平成28年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約841万人泊であった。

また、全施設の年間総実人数は約639万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約1.32日と推計される。

■ 市内宿泊施設収容人数及び施設数の推移



■ 施設延べ宿泊者数の推移



■ 推計年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移

区分	年度				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
推計総実人数 (人)	5,796,736	5,979,400	5,855,719	6,529,101	6,387,048
うち外国人	482,571	570,030	556,595	1,019,011	893,487
推計総延べ宿泊者数 (人泊)	6,950,791	7,509,115	7,523,002	8,453,709	8,409,011
うち外国人	606,148	839,550	849,079	1,355,694	1,341,172
年間定員稼働率 (%)	63.2	67.8	68.6	72.9	66.1

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。
 年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数

【国別外国人宿泊者数】

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 86 施設であった。

国別では、「中国」が全体の 35.0%と最も多く、施設分類別にみても、すべてのタイプの施設で中国の宿泊者が最も多くなっている。

■ 国別外国人宿泊者数

	登録ホテル (人)	ホ テ ル (人)	旅 館 (人)	全 体		平成 27 年度
				人数(人)	割合(%)	割合(%)
回答数(施設)	12	67	7	86 施設		
中国	56,268	143,528	433	200,229	35.0	44.0
台湾	32,244	77,330	112	109,686	19.1	17.4
香港	13,264	65,691	20	78,975	13.8	11.0
タイ	24,225	20,781	61	45,067	7.9	7.9
韓国	12,630	31,751	67	44,448	7.7	6.3
米国	18,820	13,027	10	31,857	5.5	3.7
シンガポール	4,449	6,244	10	10,703	1.9	1.8
オーストラリア	2,074	5,482	1	7,557	1.3	1.0
ベトナム	2,999	3,602	30	6,631	1.2	1.6
ドイツ	3,054	3,555	2	6,611	1.2	0.9
マレーシア	2,573	3,950	5	6,528	1.1	1.2
英国	2,368	3,777	3	6,148	1.1	0.8
インドネシア	2,513	3,247	24	5,784	1.0	0.9
フランス	1,500	3,344	3	4,847	0.8	0.7
その他	1,262	7,961	52	9,275	1.4	0.8
合計	180,243	393,270	833	574,346	100.0	100.0

【修学旅行について】

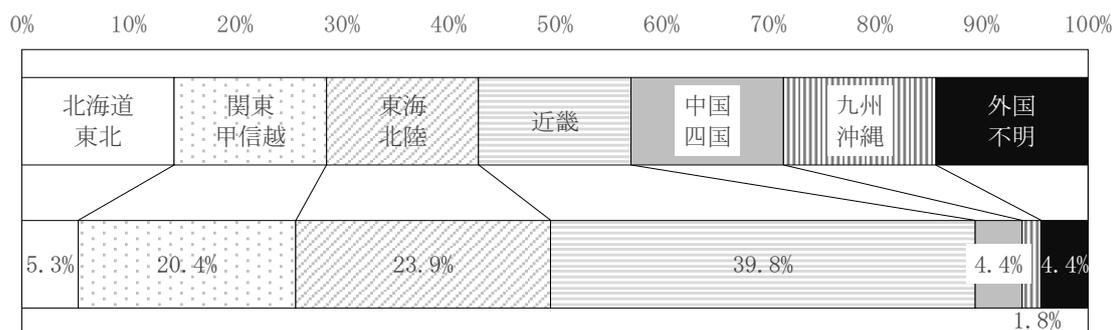
修学旅行を受け入れた宿泊施設は 16 施設で、学校数は 113 校、宿泊者数は 5,506 人であった。昨年度に比べ学校数は 3 校、宿泊者数は 37 人減少している。

学校分類別では「小学校」が 29 校、「中学校」が 29 校、「高校」が 16 校、「その他」が 39 校となっている。(本編参照)

■ 修学旅行団体の受入実績の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
学校数(校)	77	55	82	116	113
宿泊者数(人)	4,602	2,787	3,984	5,543	5,506

■ 地域別修学旅行団体受入状況



(4) 全国からみた名古屋の観光

名古屋への訪問実績や訪問意向、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、名古屋市を除く全国の18～79歳の男女個人を対象に、インターネットを用いて平成29年3月にアンケートを実施した(1,143サンプル)。

【観光資源について】

名古屋の主要な観光資源については、認知度は「名古屋城」、訪問・経験割合、訪問・経験意向は「なごやめし」がトップである。

■ 名古屋の主要観光資源について

(単位：%)

	名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋市科学館	名古屋市美術館	名古屋港	東山動植物園	栄	大須	レゴランド・ジャパン	なごやめし	その他	一つもなし
認知度	87.8	14.3	22.1	47.2	21.4	23.7	16.5	16.9	13.7	25.4	47.2	36.1	20.3	55.9	53.3	7.6	
訪問者の訪問・経験	40.9	9.7	11.7	24.6	10.1	9.9	9.3	10.9	7.3	16.1	17.1	31.7	20.2	43.1	31.6	18.3	
訪問・経験意向	44.0	19.7	23.6	24.7	23.5	18.4	16.3	16.9	14.8	21.5	24.1	17.1	13.0	24.5	45.6	52.2	4.9

【名古屋の観光地としての魅力について】

名古屋の観光地としての「魅力を感じる」は50.5%と半数を占め、「魅力を感じない」は13.8%と1割程度である。

一方、名古屋に観光地としての魅力を感じない方は、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が最大の要因となっている。

■ 名古屋の観光地としての魅力

(単位：%)

	魅力を感じる	魅力を感じない	どちらともいえない
全体 N=1,143	50.5	13.8	35.7

■ 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由

(単位：%)

	他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	魅力ある観光施設が少ないこと	魅力あるイベントが少ないこと	魅力あるおみやげ品が少ないこと	交通アクセスが良くないこと	夜に楽しめる場所が少ないこと(観光施設の閉館時間が早いことなど)	観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	まちがきれいでないこと	まちに緑が少ないこと	その他
全体 N=158	52.5	17.7	5.7	39.2	12.7	5.1	10.1	3.2	5.1	3.8	5.1	9.5

【観光振興について】

平成19年7月から主要観光施設等を周遊する観光ルートバス「メーグル」の認知度は未だ10.4%と1割程度であるが、利用意向は60.3%となっている。

(5) 主要観光施設の入込客数

■ 主要観光施設別入込客数の推移

(単位：人)

施設	年 度				
	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
名古屋城	1,472,305	1,657,370	1,641,787	1,740,178	1,919,479
東山動植物園	2,079,896	2,228,650	2,271,248	2,583,986	2,408,400
東山スカイタワー	277,652	268,511	268,517	314,000	284,399
名古屋テレビ塔	251,384	242,286	269,852	325,462	299,953
熱田神宮	6,773,935	6,852,153	6,760,955	7,063,539	7,006,452
名古屋港	416,175	388,015	351,458	490,740	416,427
名古屋市科学館	1,303,372	1,436,926	1,394,003	1,382,275	1,379,293
徳川美術館	193,047	182,441	183,263	253,848	231,155
名古屋市博物館	410,718	456,102	426,518	437,550	451,666
東谷山フルーツパーク	538,245	469,843	520,078	483,182	480,833
農業文化園・戸田川緑地	1,281,235	1,188,451	1,135,295	1,119,575	1,156,780
でんきの科学館	301,239	292,131	293,669	313,455	243,722
名古屋市美術館	315,204	386,428	273,428	151,513	314,351
名古屋港水族館	1,990,050	2,040,420	1,967,223	2,051,785	1,967,486
トヨタ産業技術記念館	284,919	320,366	387,873	413,435	430,956
白鳥庭園	117,761	116,828	132,241	150,944	159,153
市政資料館	69,570	75,335	70,917	72,322	78,375
名古屋能楽堂	171,951	173,848	169,457	170,794	174,398
愛知県美術館	795,538	946,258	780,788	787,894	885,115
名古屋市農業センター	629,486	655,219	632,986	681,297	663,849
有松・鳴海協会館	170,035	168,531	177,381	177,335	169,389
久屋大通庭園フラリエ（旧 ランの館）	134,638	124,485	353,531	621,847	632,356
名古屋ポストン美術館	319,008	165,634	183,281	142,590	196,006
ノリタケの森	356,529	336,994	352,890	357,730	329,167
ブルーボネット	70,780	64,089	51,019	53,211	52,147
徳川園	248,542	233,203	285,957	320,341	320,335
文化のみち二葉館	34,749	33,485	35,942	37,555	34,085
スカイプロムナード	103,014	102,863	96,359	99,395	91,598
リニア・鉄道館	679,272	592,191	530,982	546,491	463,378
合計	21,790,249	22,199,056	21,998,898	23,344,269	23,240,703

注1：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。

注2：ランの館は平成26年3月に閉館し、久屋大通庭園フラリエとして平成26年9月に開館した。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査概要版

(平成 28 年度)

平成 30 年 1 月発行

発行 名古屋市観光文化交流局

業務委託先 ジャパンHRソリューションズ株式会社

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

